

CLIPPEDIMAGE= JP363273954A
PAT-NO: JP363273954A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63273954 A
TITLE: INFORMATION PROCESSOR

PUBN-DATE: November 11, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YABUMOTO, AKIRA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

N/A

APPL-NO: JP62110206

APPL-DATE: May 6, 1987

INT-CL_(IPC): G06F013/00; G06F009/06

ABSTRACT:

PURPOSE: To automatically select a desired driver by comparing successively the

type signals obtained from an external connection equipment in a system rise state with the type information held by a rise information register and deciding one of device drivers in an external memory when the coincidence is obtained from said comparison.

CONSTITUTION: When a system power supply is applied, a signal 201 is sent to a

keyboard 4 from a rise control part 2 for production of a type signal 401. At the same time, a type signal 601 and the file name information 602 on a device drive program are read out of a rise information register 6. Then the signals 401 and 601 are compared with each other by a comparator 5 and a signal 501 is

outputted when the coincidence is obtained between both signals. These actions

are repeated. Hereafter both signals 501 and 602 are supplied to the part 2 every time the coincidence is obtained between both signals 401 and 601 for production of a signal 202. Thus either one of driver programs A~D is automatically specified within an external memory device 1 with use of the signal 202.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

BEST AVAILABLE COPY

⑫ 公開特許公報 (A)

昭63-273954

⑬ Int. Cl. 4

G 06 F 13/00
9/06

識別記号

3 0 5
3 1 0

庁内整理番号

S-7230-5B
G-7361-5B

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月11日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 情報処理装置

⑯ 特 願 昭62-110206

⑰ 出 願 昭62(1987)5月6日

⑱ 発 明 者 荻 本 明 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
 ⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

情報処理装置

2、特許請求の範囲

種別信号を送信する外部接続機器と、各々異なる機能を有する複数のデバイスドライバプログラムと、このデバイスドライバプログラムを格納する外部記憶装置と、主記憶部と、前記外部接続機器の種別情報と前記デバイスドライバプログラムの外部記憶装置上での名称を保持している立ち上げ情報レジスタと、前記デバイスドライバプログラムを前記主記憶部に読み込む立ち上げ制御部と、前記外部接続機器より送信される種別情報と前記立ち上げ情報レジスタに保持されている種別情報とを比較する比較器とを有し、複数のデバイスドライバプログラムが存在するシステムで外部接続機器の種別信号を用いて使用するデバイスドライバプログラムを自動的に決定する事を特徴とする情報処理装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、複数種の外部接続機器を接続出来る情報処理装置に関する。

従来の技術

従来の情報処理装置としては、例えば月刊アスキー誌1985年10月号～12月号「PC 9801シリーズ+0 A S I S型キーボード」に示されている。第3図は従来の情報処理装置の構成を示した図である。第3図において、1はハードディスク等の外部記憶装置、2はシステムの立ち上げを制御する立ち上げ制御部、3は主記憶部である。外部記憶装置1には複数のデバイスドライバプログラムと、どのデバイスドライバプログラムを用いるかの情報を保持している立ち上げデータが格納されている。以上の様に構成された従来の情報処理装置について、図面を参照しながらその動作について説明する。先ずシステムの電源が投入されると、立ち上げ制御部2は外部記憶装置1より、立ち上げデータを読み込む。立ち上げ制御部2は読み込んだ立ち上げデータより、デバイス

ライブプログラムA～Bの内いずれかを選択し、主記憶部3に読み込む。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら上記の様な構成では、用いるべきデバイスドライバプログラムを選択するためには以下の様な問題点を有していた。即ち、外部に接続される機器が変わる毎にシステムを立ち上げ、外部記憶装置1の立ち上げデータの使用デバイスドライバプログラム名を書き換えてから、再びシステムの再起動を行わなければならなかった。

本発明はかかる点に鑑み、容易な手段で用いるべきデバイスドライバプログラムを選択できる情報処理装置を提供する事を目的とする。

問題点を解決するための手段

本発明は、種別信号を送信する外部接続機器と、各々異なる機能を有する複数のデバイスドライバプログラムと、このデバイスドライバプログラムを格納する外部記憶装置と、主記憶部と、前記外部接続機器の種別情報と前記デバイスドライバプログラムの外部記憶装置上での名称を保持してい

る立ち上げ情報レジスタと、前記デバイスドライバプログラムを前記主記憶部に読み込む立ち上げ制御部と、前記外部接続機器より送信される種別情報と前記立ち上げ情報レジスタに保持されている種別情報とを比較する比較器とを有し、複数のデバイスドライバプログラムが存在するシステムで外部接続機器の種別信号を用いて使用するデバイスドライバプログラムを自動的に決定する事を特徴とする情報処理装置である。

作用

本発明は前記した構成により、システム立ち上げ時に外部接続機器より取得した種別信号と、立ち上げ情報レジスタに保持されている種別情報とを逐一比較する。一致している場合にデバイスドライバプログラムのファイル名を立ち上げ情報レジスタの対応するエントリより取得する。立ち上げ制御部は、そのファイル名を基に外部記憶装置よりデバイスドライバプログラムを主記憶部に読み込む。

実施例

第1図は、本発明の一実施例における情報処理装置の構成を示す図である。第1図において、1はハードディスク等の外部記憶装置、2はシステムの立ち上げを制御する立ち上げ制御部、3は主記憶部であり、これらは第3図と同じものである。外部記憶装置1には複数のデバイスドライバプログラムが格納されている。4はキーボード等の外部接続機器、5は比較器、6は立ち上げ情報レジスタで、外部接続機器4の種別情報とそれと対になったデバイスドライバプログラムのファイル名とを保持している。

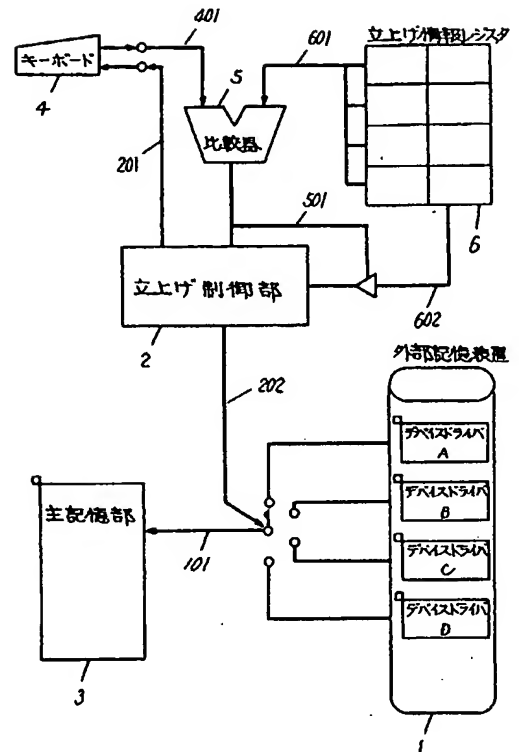
以上の様に構成された情報処理装置について、以後その動作を第2図のフローチャートに従って説明する。

まず、システムの電源が投入されると、ステップS1で立ち上げ制御部2より信号201がキーボード4に送出される。ステップS2で、キーボード4より種別信号401が返ってくる。ステップS3で、立ち上げ情報レジスタ6の1スロットから種別情報信号601とデバイスドライバプロ

グラムのファイル名情報信号602が読み出される。ステップS5で信号401と信号602を比較器5にて比較し、一致していれば信号601を送出しステップS6に進み、一致していなければ、ステップS4に進む。ステップS4では、立ち上げ情報レジスタ6内の次のスロットから情報が読み出される様に、制御を変更し、ステップS3から繰り返す。ステップS5で一致していれば、ステップS6で、立ち上げ制御部は一致した種別情報601に対応するデバイスドライバプログラムのファイル名情報602を取得し、対応するファイル読み制御信号202を外部記憶装置1に送出する。ステップS7でデバイスドライバプログラムのファイル名情報602を基に選択されたデバイスドライバプログラムを外部記憶装置1より主記憶部3に読み込む。この様にして、外部記憶装置1に存在するデバイスドライバプログラムA～Dの内、いずれかを用いる事が出来るようになる。

尚、本実施例において4はキーボード等の入力装置としたが、CRTディスプレイ、フォント

第 1 図



ROMパック、プリンタ、ポインティングデバイス、オプションボード等、自己の種別信号を送出できる外部接続機器ならば何でも良い。

発明の効果

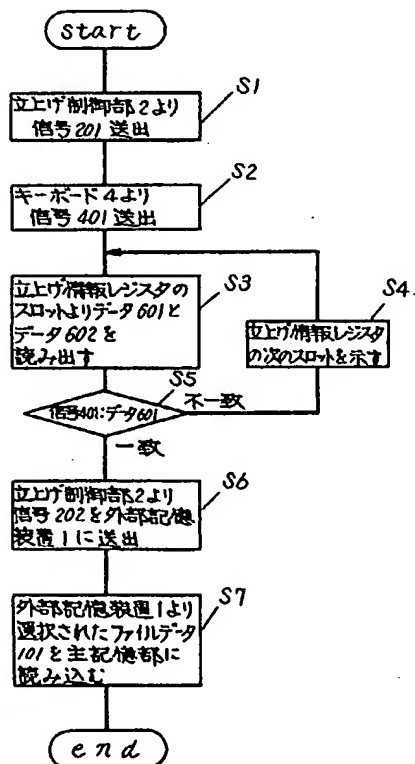
以上説明したように、本発明によれば、外部接続機器の種別によって用いるべきデバイスドライバプログラムを自動的に選択する事ができる。例えばAタイプのキーボードを接続した時には、キーボードデバイスドライバAを、Bタイプのキーボードを接続した時にはキーボードデバイスドライバBを用いる事を自動的に選択する事ができ、その実用的効果は大きい。

4、図面の簡単な説明

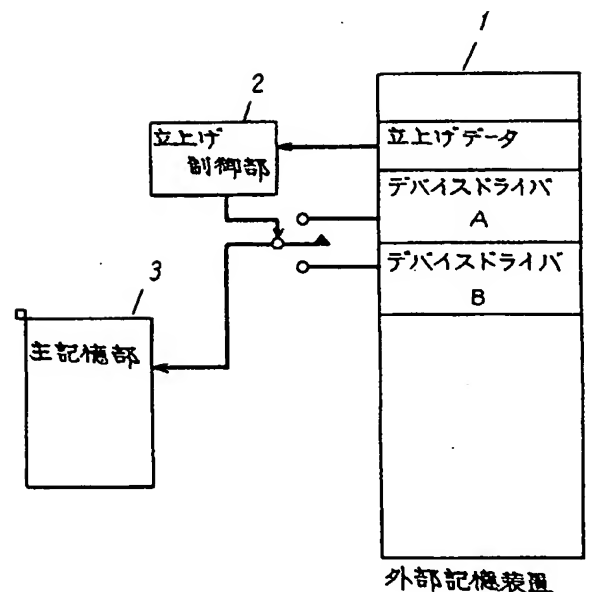
第1図は本発明における一実施例の情報処理装置の構成図、第2図は同実施例の動作を示すフローチャート、第3図は従来の情報処理装置の構成図である。

1……外部記憶装置、2……立ち上げ制御部、4……外部接続機器、5……比較器、6……立ち上げ情報レジスタ。

第 2 図



第 3 図



BEST AVAILABLE COPY